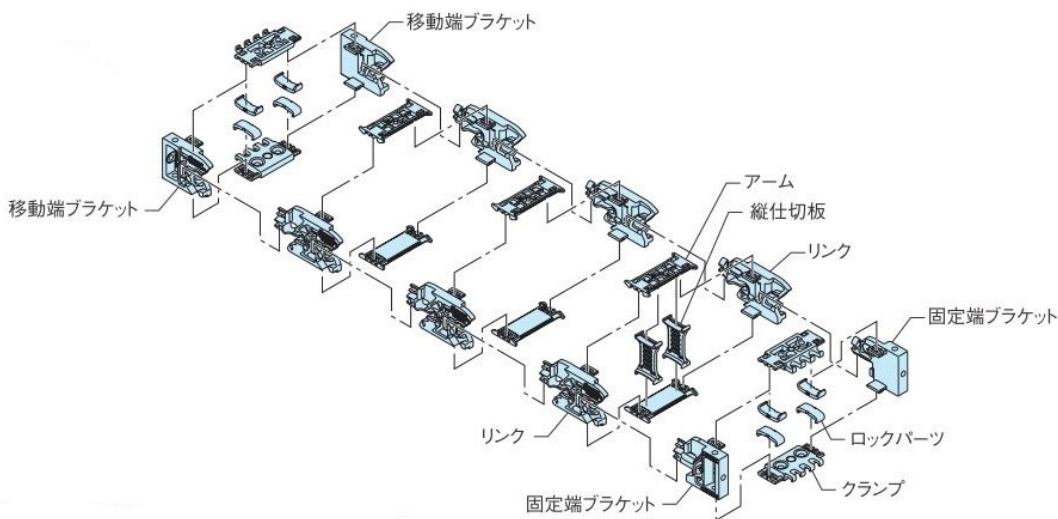


ケーブルベヤ[®]

TKR37H28

(注) 作業の際には適切な保護具 (安全眼鏡、手袋、安全靴など) を着用してください。

1 構造・名称



2 仕切板の取付け

仕切板はケーブル・ホース挿入時に取付けます。

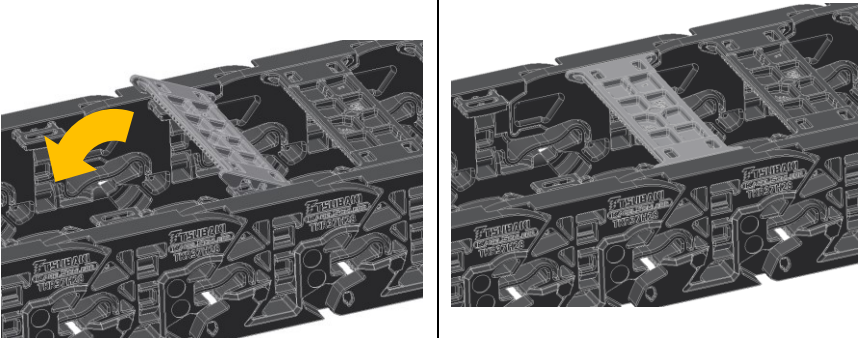
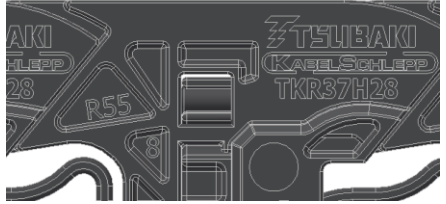

外周側アームを開けた (内周側アームだけを取付けた) 状態で、以下の手順にしたがって縦仕切板を内周側アームの内周面に取付けてください。

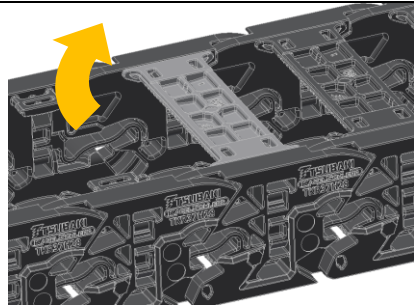
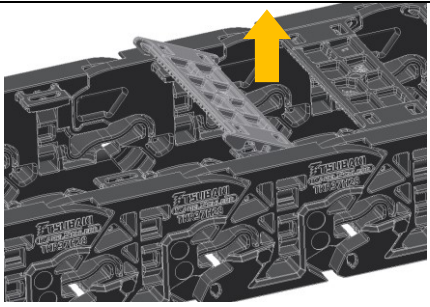
<p>1) 縦仕切板の片方の係合部をアームに引っ掛けます。</p>	<p>2) 縦仕切板の片方の係合部を引っ掛けた部分を基点にして他方の係合部を回転させるように押し込むと、縦仕切板が取付きます。</p>

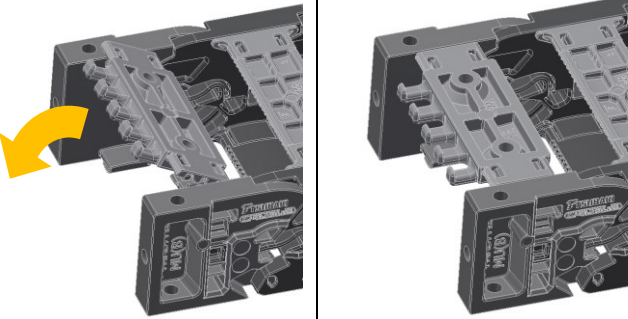
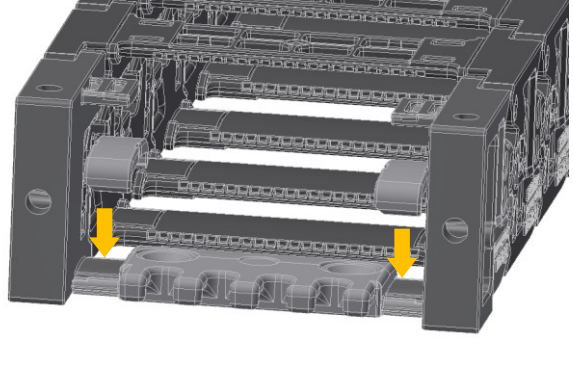
縦仕切板には、下図の2種類あります。

STAS (DSA用スライドタイプ)	STAL (DSA用ロックタイプ)
<p>識別穴 (1ヶ)</p>	<p>識別穴 (2ヶ)</p>

注1) 仕切板は、2リンク毎に取付けます。1ヵ所に入る数量を確認ください。

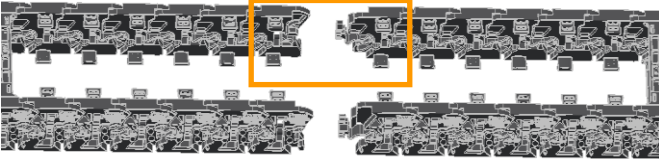

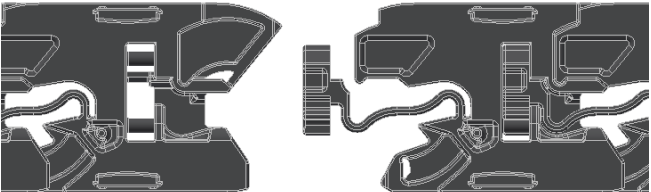
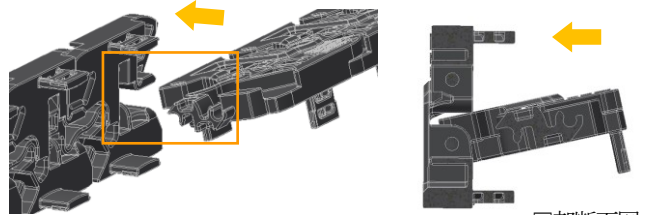
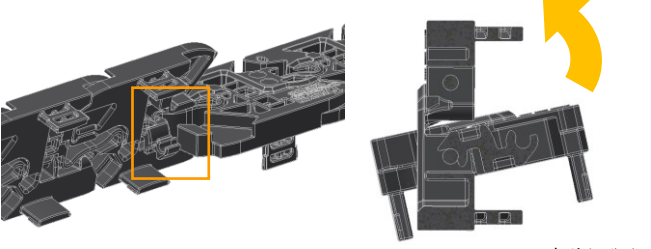
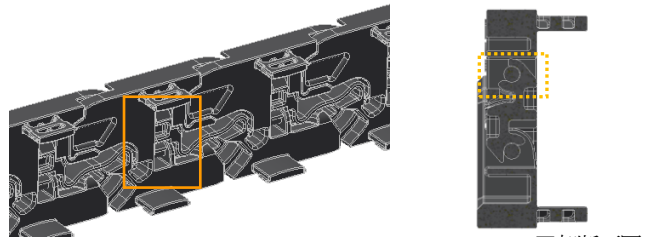
3	アームの取付け		
1) アームの片側の係合部をリンクのアーム取付け部に引っ掛け、引っ掛けた部分を基点にして他方の係合部を回転させるように押し込むと、アームが取付きます。		2) リンクの側面方向から確認し、アームが確実に組込まれているか確認してください。	
		<p>良：</p>  <p>否：</p> 	

4	アームの取外し		
1) アームの片側の係合部を基点にしてアームを回転させ、アームを取外します。			
			

5	クランプの取付け		
1) アームの取付けと同様にブラケットにクランプを取付けます。		2) ロックパーツをクランプの両端部に取付けます。	
			

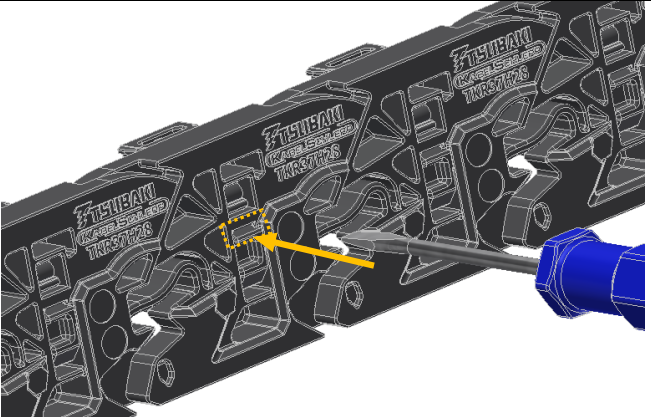
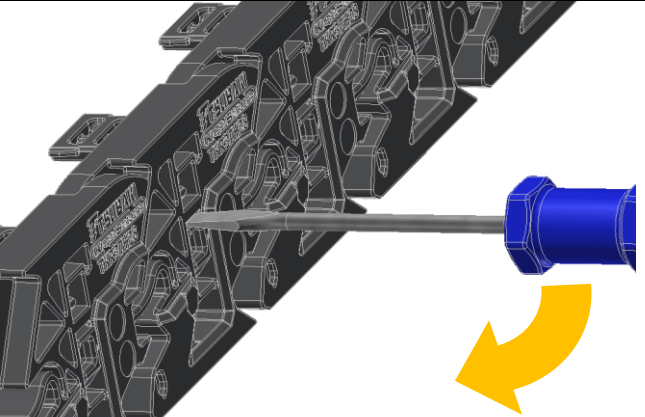
6 ケーブルベヤの連結およびブラケットの取付け

長尺編成 (50 リンク以上) の場合は原則として分割して納入します。以下の手順にしたがって連結してご使用ください。ブラケットの取付け方法も同様です。アームの取外し方法は前項を参照ください。

<p>1) 連結部分から各々6 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、リンクの向きを合わせます。</p> 	<p>2) 片側のリンクの内周側係合部を連結するリンクの係合部と接続します。</p> 
<p style="text-align: center;">↓ □部拡大図</p> 	<p style="text-align: center;">↓ □部拡大図</p>  <p style="text-align: right;">□部断面図</p>
<p>3) 内周側係合部を基点にしてリンクを回転し、外周側係合部を接続します。</p>  <p style="text-align: center;">□部断面図</p>	<p>4) 確実に外周側係合部が接続されたことを確認します。</p>  <p style="text-align: right;">□部断面図</p>
<p>5) 反対側のリンクも同様に連結し、アームを取付けてください。</p>	

7 ケーブルベヤの分割およびブラケットの取外し

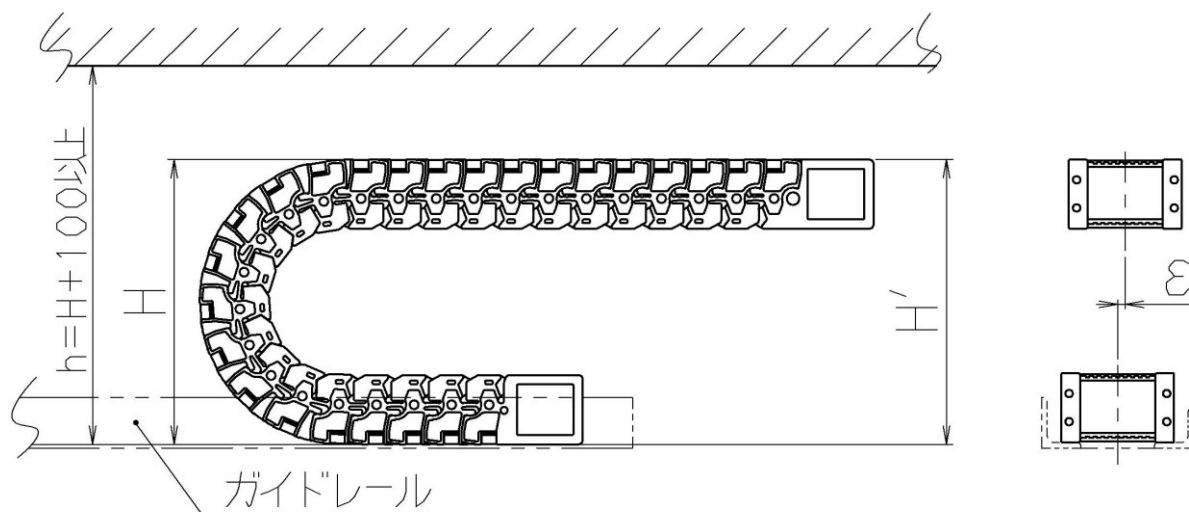
以下の手順にしたがって必要な長さに分割してご使用ください。ブラケットの取外し方法も同様の手順です。

<p>1) 分割したい部分から両側の各6 リンク以上のアームを取外し、リンクの孔にマイナスドライバーを差込みます。</p> 	<p>2) マイナスドライバーを矢印の方向にこじるとリンクが外れます。</p> 
---	--

注) 先端の幅が 3mm 以下のマイナスドライバーをご使用ください。

9 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。



1. 機械装置の移動端取付高さ (H) は、ケーブルベヤの高さ $H + (30 \sim 50)$ としてください。
2. ケーブルベヤの空間高さ (h) は、 $H + 100$ 以上としてください。
3. ガイドレールを取付けてください。
4. 移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差 (ϵ) は、6mm 以下にしてください。
5. ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
6. ワイヤブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7. ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8. ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9. ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10. 仕切り板は部品送りいたしますので取付時に組み込み願います。

◎プラブラケットの取付面に凹凸があると、プラブラケットが破損する場合がありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合がありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

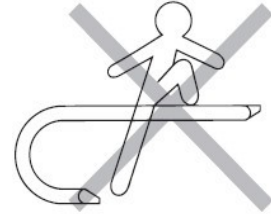
ボルトサイズ	推奨締付トルク
M4	0.6 N・m

安全にご使用いただくために

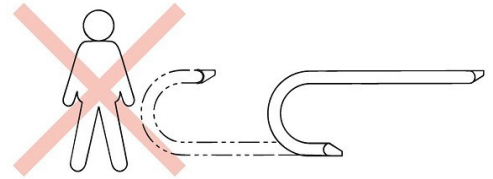


警告 危険防止のため、下記の事項にしがってください。

- ケーブルペヤ（以下、グリーンペヤ・フラットペヤ 含む）および増品は、本来の用途以外には使用しないでください。
- ケーブルペヤの上には絶対に乗らないでください。破損して落下する可能性があります。
- ケーブルペヤおよび増品への追加加工は絶対に行わないでください。
（グリーンペヤ、フラットペヤのケーブルやチューブの端末加工を除く）
 - ・ケーブルペヤおよび増品を酸やアルカリで洗浄しないでください。割れが生じます。
 - ・ケーブルペヤおよび増品への電気メッキは絶対に行わないでください。水素脆性割れする可能性があります。
 - ・ケーブルペヤおよび増品への溶接は行わないでください。熱影響で強度低下や割れが生じます。
- 労働安全衛生規則第2編第1章第1節一般基準を遵守してください。（労働安全衛生規則には、ケーブルペヤ製品に該当しない項目も含まれます。）
- 損耗（破損）した箇所の取替えは、損耗（破損）部分のみの取替えではなく、すべてを新品に取替えてください。
- 脆性割れを引き起こすもの（酸・強アルカリ・バッテリー液など）がケーブルペヤおよび増品に付着した場合は、直ちにケーブルペヤおよび増品の使用を中止し、新品に交換してください。



- ケーブルペヤおよび増品の連結、取付け、取外し、保守点検などの際には、
 - ・取扱説明書、カタログまたはお客様に対して特別に提出された文書に従って作業してください。
 - ・ケーブルペヤおよび増品が自由に動かないように固定してください。ケーブルペヤは自重により自走したり、倒れたりする可能性があります。
 - ・ケーブルペヤの屈曲部で手を挟まないようにご注意ください。
 - ・作業に合わせた服装、適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。
 - ・事前に必ず装置の元電源を切り、また不慮にスイッチが入らないようにしてください。
 - ・ケーブルペヤの取扱いは、作業に熟練した方が行ってください。



注意 事故防止のため、下記の事項を守ってください。

- ケーブルペヤおよび増品の構造、仕様を理解したうえで取り扱ってください。
- ケーブルペヤおよび増品を届え付ける際には、事前に重搬時の破損がないか検査してください。
- ケーブルペヤおよび増品は必ず定期的に保守点検をしてください。
- ケーブルペヤの能力はメーカーによって異なります。当社カタログによって選定された場合には、必ず当社製品をご使用ください。
- 取扱説明書は、必ず最終ご使用いただくお客様のお手元まで届くようにしてください。
 - ・お手元のないときは、お求めの販売店もしくは当社へ商品名、シリーズ名や形番をご連絡のうえ、ご請求ください。
- 本カタログに記載する製品内容は、主に機種選定のためのものです。実際のご使用の際は、ご使用前に「取扱説明書」をよく読み、正しくご使用ください。